

誠之小学校改築基本設計説明会 質疑概要

第1回説明会（平成28年9月9日（金）午後6時30分から）

質問	回答
本日の説明会の提示資料の中で、避難所の早期開設の説明があったが、詳しく説明して欲しい。	避難所として主に利用する体育館や特別教室、学校として利用する普通教室のエリアを明確に分けることで、避難所としての早期開設を実現できる計画としています。
避難所として新校舎を利用する時期はいつ頃からか。	新校舎を学校施設として利用開始する平成32年4月から、新校舎を避難所として利用開始する予定です。
新校舎ができるまでの工事期間中の避難所はどうなるのか。	体育館及び仮校舎を避難所として利用する想定です。
体育館を避難場所として利用する場合、全校生徒が入りきらないと思われるが、どう考えるか。	建物の安全性を確認した上で、避難場所として利用できる仮校舎や体育館を避難場所とすることを考えております。
仮校舎の耐震性能は十分か。	通常の建築物と同様、建築基準法等の関連法規に則った構造設計を行います。
地域の避難所としても将来にわたり利用する施設として、体育館を地下に配置する計画で水害等に耐えうるのか。	文京区水害ハザードマップに基づき、浸水した場合に想定される水深を勘案し、適切な床の高さで体育館を配置する計画としています。
発災時に停電で体育館が蒸し風呂状態になると予想されるが、その対策をどう考えているか。	災害時のインフラ遮断に一定時間対応した施設整備として設計を進めており、実施設計の中で具体化してまいります。
ボーリング調査や埋蔵文化財の調査結果はどのようになっているか。また、工期への影響はないのか。	ボーリング調査は平成28年3月に実施し、基本設計説明書に報告書がございます。 埋蔵文化財の調査は、今年度の夏期及び冬期に分けて実施しております。調査結果につきましては、全体の調査完了後に最終的に取りまとまります。工期への影響については、調査結果をふまえ、具体的に検証を進めてまいります。
工事車両は西片地区等の住宅地をどのように通る計画か。	工事車両の通行エリア等の車両計画は、近隣の幼稚園、児童の通学路及び近隣住民の安全性を考慮し、実施設計の中で具体的に検討してまいります。

今後、実施設計に関する説明会は開催されるのか。	「中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整及び開発事業の周知に関する条例」に基づく説明会を開催する予定です。
仮校舎について、平面図等の具体的な計画を提示して欲しい。	プロジェクターでの提示資料を9月12日（月）にホームページに掲載し、公開いたします。
仮校舎の教室数は十分な室数を確保できているのか。	普通教室として2、3階にそれぞれ10教室の計20教室を整備し、その他、音楽、理科、家庭科、図工等の特別教室を整備してまいります。
学級数が、仮校舎の普通教室20学級分を上回ることはないのか。	現行では、1、2学年で35人学級、3学年以降は40人学級としております。現在の学年の進級を考慮すると、20学級を上回る見込みはございません。
工事期間中の運動場については、具体的にどこで検討が進められているのか。	東京大学農学部グラウンドを、平成29年度より借用するよう協議を進めております。
ウコッケイの鳥小屋や作物を栽培するスペースは、仮校舎期間及び新校舎で確保されるのか。	仮校舎期間については、体育館棟の西側（擁壁側）に鳥小屋及び栽培スペースを確保いたします。新校舎については、実施設計の中で、栽培スペース及び鳥小屋の配置を具体化してまいります。
一時避難場所については、具体的にどこを考えているのか。	現段階では、地震発生時は、仮校舎の各教室で安全の確認がとれ次第、二次避難場所に向かう計画です。火災発生時は、直接二次避難場所へ移動する計画です。引き続き、児童の安全を優先して確保できるよう、適切な一時避難場所等の計画を検討してまいります。
休み時間の遊び場はどこに確保されるのか。	仮校舎建設期間中においては、体育館及び床を組んだプール上の広場（プール期間外）で遊ぶことができます。仮校舎使用期間中は、上記に加え、仮校舎の屋上の一部を広場として利用できます。
仮校舎において、教室間、上下階等の遮音はどの程度確保されるのか。	これまで他の区立小・中学校で利用した仮校舎と同等程度の性能を確保します。
仮校舎の教室の採光は十分確保されるのか。	建築基準法等の関連法規に則った建築物であり、各教室には窓を設けるため、十分な採光を確保した教室となります。

<p>工事期間中の粉塵対策は。</p>	<p>工事中の粉塵を最小限に抑えるため、施工者と施工計画を協議する中で、具体的な対策を図ってまいります。</p>
<p>仮校舎における避難経路はどのようになるのか。</p>	<p>二方向避難として、仮校舎の2箇所の階段を利用して1階に降り、校舎外に出る計画です。</p>
<p>仮校舎において、廊下から教室に入る扉は1箇所か、2箇所か。</p>	<p>詳細は実施設計の中で計画してまいります。原則として2箇所を予定しております。</p>
<p>仮校舎建設期間中の一時避難の計画についてどう考えているか。</p>	<p>現段階では、既存校舎の各教室で安全の確認がとれ次第、二次避難場所に向かう計画とします。引き続き、児童の安全を優先して確保できるよう、適切な一時避難場所等の計画を検討してまいります。</p>
<p>仮校舎建設期間中の運動スペースはどのように確保するのか。</p>	<p>体育館及び床を組んだプール上（プール期間外）の広場で遊ぶことができます。</p>
<p>仮校舎建設期間中の現校舎の防音対策はどのように行っていくのか。</p>	<p>学校運営と施工計画との調整を図ってまいります。</p>

第2回説明会（平成28年9月10日（土）午後3時から）

<p>仮校舎に図書室、音楽室は設けないのか。また、新校舎ではラーニングセンターのみで、個別の図書室は設けないのか。</p>	<p>仮校舎においても図書室及び音楽室は整備いたします。また、新校舎のラーニングセンターは、コンピュータ教室と図書室の機能を兼ね備えた教室として整備する計画です。</p>
<p>仮校舎期間中及び新校舎において蔵書数は現状より減ってしまうのか。</p>	<p>蔵書数が減る計画はございません。</p>
<p>プロジェクターで提示している資料を手元に配布して欲しい。</p>	<p>9月12日（月）にホームページに掲載し、公開します。</p>
<p>東大運動場を借用するとの説明があったが、具体的にどこを借りるのか。</p>	<p>東京大学農学部グラウンドを、平成29年度より借用するよう協議を進めております。</p>
<p>休み時間及び放課後はどこで遊ぶことができるのか。</p>	<p>仮校舎建設期間中においては、体育館及びプール期間外は床を組んだプール上の広場で遊ぶことができます。仮校舎使用期間中は、上記に加え、仮校舎の屋上の一部を広場として利用できます。</p>
<p>仮校舎の屋上スペースは狭くないが、全校生徒が遊ぶ場所はどのように考えるか。</p>	<p>仮校舎使用期間中は、体育館及びは床を組んだプール上（プール期間外）の広場で遊ぶことができます。</p>
<p>仮校舎で火災が発生した場合の避難先はどこか。</p>	<p>現段階では、直接二次避難場所に向かう計画としておりますが、引き続き、児童の安全を優先して確保できるよう、適切な一時避難場所等の計画を検討してまいります。</p>
<p>地震が発生し、児童が体育館に避難した際に体育館で火災が発生した場合どこに避難するのか。</p>	<p>地震発生時は、仮校舎の各教室で安全の確認がとれ次第、二次避難場所に向かう計画としております。</p>
<p>STEP 2の後、新校舎の使用を開始する時期は具体的にいつ頃か。</p>	<p>仮校舎からの引越し等作業の後、平成32年4月を予定しています。</p>
<p>基本設計に要望を反映したとの説明だが、具体的にどのような要望を反映したのか。</p>	<p>工事期間を短縮して欲しいとのご意見をいただき、これに対し、仮校舎で過ごす期間を短縮できるよう基本設計の中で検討し、仮校舎で過ごす期間を2年3ヶ月として計画を進めております。</p>

<p>改修後の擁壁の高さは既存擁壁と比べてどの程度か。</p>	<p>既存擁壁と同程度の高さで改修する予定です。具体的な形状については、できるだけ圧迫感が軽減されるよう、実施設計の中で検討していきます。</p>
<p>大規模な土木工事が必要になると想定されるが、工期は適切に計画されているか。</p>	<p>現時点で想定される条件のもとに検討した工期をお示ししておりますが、今後、埋蔵文化財調査等によって工期に変更が生じる可能性も考えられます。引き続き、実施設計においてより詳細に検討を進めていきます。</p>
<p>新校舎の色はどのようになるのか。暗い外観色は控えて欲しい。</p>	<p>外壁等の色彩については、文京区景観計画に基づき、所管部署との協議をふまえ実施設計の中で決定していくこととなります。</p>
<p>新校舎の使用開始、校庭の使用開始時期はいつ頃か。</p>	<p>新校舎の利用開始は、仮校舎からの引越し等作業の後、平成32年4月を予定しています。また、校庭整備の完了は平成33年の夏休み前後を予定しております。</p>
<p>工事期間中の騒音対策はどのように行うのか。</p>	<p>学校運営と施工計画との調整を図ってまいります。また、既存校舎解体及び新校舎建設期間においては、上記に加え、仮校舎の窓を二重サッシにすることにより、騒音の低減を図ってまいります。</p>
<p>仮校舎の教室の大きさはどの程度か。ロッカー等の荷物を置くスペースはどのようになるのか。</p>	<p>8×8mを基準として設計を進めております。ロッカー等の荷物については、大きさ、必要個数等の詳細を、実施設計の中で学校等と協議しながら決定し、整備してまいります。</p>
<p>新校舎に入る育成室の収容人数はどの程度になるか。</p>	<p>およそ40名を想定しておりますが、諸室の面積等を勘案し、収容人数の検討を行ってまいります。</p>
<p>放課後全児童の開始時期はいつ頃になるのか。</p>	<p>仮校舎にて実施するのか、新校舎から実施するのかを運営する学校と今後協議し、決定してまいります。</p>

<p>体育の授業等で借用する運動場への移動時の安全対策はどのように行うのか。また、授業時数は確保されるのか。</p>	<p>東京大学農学部グラウンドで実施する体育授業は、現段階では中高学年を想定しており、既存の体育館や床を組んだプール上でできる授業は校内で実施する予定です。</p> <p>また、東京大学農学部グラウンドは広いエリアを借用できるため、学年単位での移動を考え、移動中の児童の安全確保については、今後具体的に検討してまいります。</p> <p>なお、教育課程上必要な時数は、適切な授業計画により確保してまいります。</p>
<p>工事関係者とそれ以外の人を区別する方法はどのように考えるか。</p>	<p>工事関係者が腕章を着用することで、工事関係者以外と区別できるよう計画してまいります。</p>
<p>運動会はどこで開催するのか。</p>	<p>近隣施設で実施できるよう、相手方と協議を進めております。</p>
<p>工事車両と児童動線をどのように分離するのか。また、登下校時間と工事車両の搬出入が干渉する場合の安全対策はどのように行うのか。</p>	<p>仮囲いにより、工事車両の動線と児童の通行動線を物理的に分ける計画とします。また、登下校時については、児童の登下校の時間帯と車両の搬出入時間が干渉しないよう調整することや、搬出入口に交通誘導員を配置し児童の通行を優先する等の対応により、児童の安全を確保してまいります。</p>
<p>改築に伴い、給食が中断する時期が発生するのか。</p>	<p>改築工事期間中に給食が中断する時期はございません。</p>